

「昔、わらじ作りを孫に教えたように、子どもたちにパソコンを教えるのは年寄りの役目だと思っています」。仙台市内で高齢者のサークル「パソコンと仲良くする会」主宰する井桁章さん(83)は、かつて小学校のパソコンボランティア講師をしていた頃、地元紙の取材にこう答えている。これから暮らしにパソコンは必需品だという思いがあるからだ。

井桁さんは1997年から同世代のために「パソコンと仲良くする会」を開催。そのため、98年に仙台中央郵便局の「情報ひろば」で65歳以上の無料パソコン教室が定員の13倍、394人の応募があった時、大きな反響に周囲は驚いたが、井桁さんは「時代に遅れない」という高齢者たちが大勢いることを

## Q シニア デジタル達人伝 ITシニアのパイオニア



仙台シニアネットクラブのパソコン教室で準備体操をする参加者=仙台市内

予想できたという。「情報ひろば」の卒業生の中から、郵政職員OBが中心となって高齢者によるパソコンボランティア団体「仙台シニアネットクラブ」が誕生し、パソコンさえあれば、誰でも、井桁さんは初代の代表に就任した。メンバーが30人を超えた頃、きめ細かいパソコン指導が評判となり、小学校やPTAへの出前教室が始まつた。

高齢者が高齢者にパソコンを教えるボランティアのスタイルはメディアを通じて全国に紹介され、沖縄県や長野県など各地でシニアパソコンクラブが発足。仙台シニアネットクラブは各地のモデルとなつた。現在は仙台市の支援を

受け、NPO法人として活動を続けている。

受け、NPO法人として活動を続けている。

「高齢になるほど、付き合いが狭くなり、交流も減つてきます。シニアネットは、パソコンさえあれば、誰でも、どこでもできる楽しいボランティア活動です」井桁さんが仙台シニアネットクラブの代表を降りて7年が経過した2012年、内閣府から「エイジレス・ライフ実践者」に選ばれた。受賞理由の一つが176回を超える「パソコンと仲良くする会」の開催である。心からお祝い申し上げたい。

(老テク研究会事務局長・近藤則子)



井桁章さんのホームページは「<http://www2ubiglo.bene.jp/~igeta/>」。

# 広がるパソコン無料指導